

2022-23年度クラブ会報 第34号 2023年3月30日発行

2023年3月22日 第2408回 例会報告

「次年度会長方針」
佐藤 貢 会長エレクト



3月29日(水)プログラム

夜間オープン例会
平成の間 18時～

次回プログラム

4月5日(水)

全員クラブ協議会

2022～23年度国際ロータリー会長テーマ
イマジン ローター
RI会長 ジェニファー E. ジョーンズ

2022～23年度東京武蔵村山ロータリークラブテーマ
今までの50年に感謝して、これからの
50年のクラブの継続をみんなで考えて行動しよう
第51代会長 比留間一義

・進行 倉内 淳 会場運営委員長

・出席報告 新海 正人 会場運営委員

・点鐘 比留間 一義 会長



会員数	出席者数	出席率	前々回出席率修正
29名	25名	85.71%	なし

・ニコニコBOX発表



*ニコニコはございませんでした。

◆今回計0円 累計 988,000円

・斉唱「それでこそロータリー」
ソングリーダー：高橋 弘貴 会員



・会務報告 比留間 一義 会長



- ぶっく・デ・アース買取金のご報告及び植樹プロジェクト詳細のお尋ね
・当クラブは2,350円の買い取りでした。
・3/23までに植樹プロジェクト詳細を報告して下さい
- 2023-24年度ガバナー補佐、分区幹事が現時点から2023-24年度終了までに4回程度担当クラブの例会を訪問の際、ニコニコ箱に5,000円を寄付に統一
- ハイブリッド例会及びキャッシュレス運用見学会のご案内
・ハイブリッド例会見学は東京お茶の水RC、キャッシュレス化の見学を東京紀尾井町RC実施します。
*見学会への参加は担当クラブへのメイクアップとなります。
- 多摩分区合同例会お礼状が届いております。
- 秋川RC50周年記念事業、記念式典、祝賀会のご案内（各自メールBOXに入れてあります）
・記念事業（宮家邦彦氏講演、東海大菅生高校吹奏部演奏会）
日時：5/13（土）開会13時 秋川キララホール
登録料は無料ですが事前登録が必要
・記念式典（真田幸光氏講演）
日時：5/18（木）登録13時～ 開会14時
パレスホテル立川4F
登録料：15,000円
- 秋川RC故関係会員のお嬢様からお手紙とお気持ちが届いております
- 先日の合同例会で「ようこそロータリークラブへ新入会員の皆様」という冊子をいただきましたので新入会員の皆様へお渡します。



・幹事報告 荒井 孝育 幹事



- TRCゴルフコンペ（武蔵村山RC親睦ゴルフ兼）ご案内
・日時：5/12（金）
・場所：飯能グリーンカントリークラブ
・集合：7時受付開始 * ㊗切4/12（水）
*参加ご希望の方は用紙に名前、ハンデ、生年月日を事務局まで！！
- 昨年9/9・9/10に実施した地区大会の記録が届いております。
登録した会員にはメールBOXにお入れしています。
- ハイライトよねやま276
- 「コーディネーターニュース」4月号と資料
- ロータリー平和フェロー第22期生カウンセラーオリエンテーションのご案内（比留間孝司）
・日時：4/27（木）14:30登録開始
・場所：学士会館
- 機関誌「こもれび」第235号

・委員会報告

○波多野 健 会員増強委員長

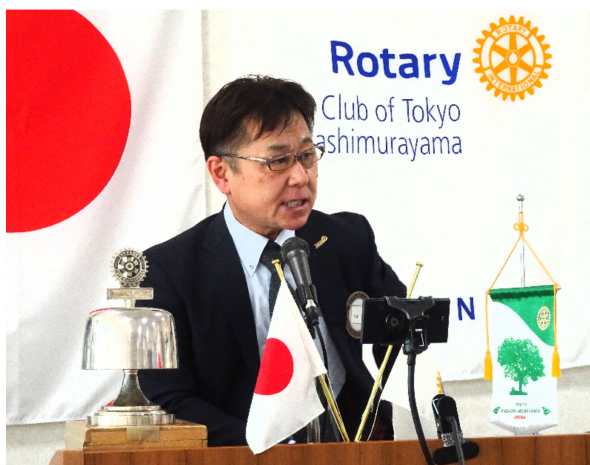
- ・3/29夜間オープン例会
招待のお客様に楽しんでもらえるよう会員の皆様頑張りましょう。
お客様の名前がわかるようネームプレートをつけてもらいます。
候補者がいましたら先日メール配信した用紙に名前を書いて提出してください。
お渡した資料の「オープン例会成功のための10のヒント」を読んでください。
お客様がクラブの活動をわかってもらえる回の週報の印刷とネームプレートの用意を事務局にお願いします。
会員の皆様にはお客様の情報を事前にメールで配信します。

○比留間 孝司 プログラム委員長

- ・3/29オープン例会にお呼びする講師紹介
講師 市川 慎次郎様
株式会社横引シャッター代表取締役社長
駅の売店に多く採用されている横引きシャッターの普及や、定年の無い雇用や、がん患者が働ける職場づくりを現実させたことで知られています。

卓話 「次年度会長方針」

佐藤 貢 会長エレクト



会長方針

『チェンジ&チャレンジ』

—そして、ロータリー活動を楽しもう！！—

ゴードンR.マッキナリー RI会長 テーマ

「Create hope in the World」

—世界に希望を生み出そう—

第2580地区 栃木一夫ガバナー 基本方針 合言葉

—ロータリアンの心に火をつけよう—

「Get the Joy of Rotary」

昨年度、過去を振り返り、感謝をお伝えする創立50周年記念式典を開催することが出来ました。これもひとえに、先輩方・多くの会員の努力や協力が無ければ継続して来ることは難しかったと感じております。

世界中でコロナウィルス感染が落ち着くことなく、社会活動などが混沌【←複雑で不規則な予測の出来ないさま】としていますが、私たちは悲観的に明け暮れるわけにもいきません。

新たな50年に向け、親睦を中心としたクラブ運営は継続して行い、様々な奉仕活動をみんなで考え、実践・検証・発信することで新たなムーブメントを生み出すと考えます。【←ムーブメント:動き、流れ】

また、職種、年齢、性別など立場の違う人の話を聞き、受け入れる「気づき」の機会も大切にしたいと思います。

未来の活動目標を考えたり、例会の出席方法、退会防止策、会員増強策などを話し合うことも必要です。本年度は、時代に即し『チェンジ&チャレンジ』【←変わりたいと思うことと、何かを始めようとする】する1年にしたいと思います。

《行動計画》

1. 親睦活動の開催・会員増強

【親睦委員会、会員増強委員会、全会員】

夜間例会、炉辺会合を積極的に行い、親睦活動を通して会員相互の絆を深めたいと思います。

会員拡大10名達成に向けて、従来と異なる新しい視点を持ち、オープン例会や他団体との交流会など、あらゆる可能性を模索して、次世代のリーダーとなる仲間を増やし活気あるクラブを目指します。

2. 奉仕活動の実践・公共イメージ向上

【職業/社会/国際/青少年奉仕委員会、クラブ会報委員会、全会員】

ロータリークラブを認知して頂く為にも、地域の方々に喜ばれ必要とされる奉仕活動を模索し実践する。

さまざまなツールを活用して親睦・奉仕活動を広報し、公共イメージ向上に結び付ける。

すべての会員が広報役を担っていると自覚し、奉仕活動へ積極的に参加する。

3. 例会と研修の充実

【プログラム委員会、会員増強委員会、情報委員会、全会員】

他クラブのロータリアンや講師の卓話を聞いて、『心を動かす』機会をつくり、奉仕活動に役立てて頂きたいと思います。

また、ロータリーの基礎を学んだり、会員の趣味・知識の卓話、地区出向で養われた経験談や情報を取り入れた研修を行い、会員の貴重な時間が有意義となる例会を開催する。

4. 出席率の向上

【会場運営委員会、各委員長、全会員】

例会場での出席が出来ない会員には、オンラインでの参加が出来ることを周知徹底する。

また、例会を欠席しなければならない会員の為に、会場運営委員会、各委員長と協力しメイクアップツアーを開催する。

5. クラブ戦略委員会の開催

クラブ発展の為に、中長期的ビジョン【←あり方】を設定し、今後の活動の礎とする。

《委員会の主な活動》

クラブ奉仕委員会:

奉仕部門全般のサポート、クラブ奉仕部門の起案書/報告書作成・上程サポート、マイロータリーへの登録推進、その他

親睦委員会:

親睦活動の企画/運営、例会時の受付、入会年度の浅い会員がロータリークラブへ、なじんでもらえるように発言の機会を作る、各種奉仕事業の集金、その他

お客様の誘導(お出迎え/お見送り等)、事務局員の手が回らない時の配布物や配膳の手伝い

会員増強委員会:

会員増強/次世代リーダー発掘の為、オープン例会、交流会、新入会員のフォロー、会員増強に役立つ卓話などの企画/運営、その他

情報委員会:

会員、入会予定者、新入会会員にロータリーに関する情報を提供し、歴史、綱領、活動等の基礎知識を理解してもらう卓話の企画/運営、その他

クラブ会報委員会:

クラブ会報や公共イメージ向上の為の企画/運営、地域イベントでの広報活動
ITを活用した情報の収集やクラブ内/外への広報活動、その他

プログラム委員会:

年間プログラムの企画/管理、各委員会と協力して卓話者の選定や交渉、その他

会場運営委員会:

例会開催の企画/運営、例会出席・オンライン出席の啓蒙、メーキャップツアー開催、プログラム委員会、各委員会と協力して例会の企画/運営、その他

Zoom設備設営/片付け、例会後の片付け(会場・看板)、次回例会の準備(白板、歌詞)

職業奉仕委員会:

職業奉仕の理解を深める卓話や奉仕活動の企画/運営、その他

社会奉仕委員会:

地域イベント(デエダラまつり・クリーン作戦・他)への協力、参加、社会奉仕の理解を深める卓話や奉仕活動の企画/運営、その他

国際奉仕委員会:

R財団・米山奨学(奨学生受け入れ)の理解を深める卓話や奉仕活動の企画/運営、その他

青少年奉仕委員会:

青少年奉仕活動を通して子ども達、保護者に普段感じられない喜びや達成感を感じる場を提供、地域/行政の方々の話を聞き、新たな奉仕活動の模索/企画/運営

★各委員会委員長は委員会の奉仕活動のサポート、総括

クラブ戦略委員会:

クラブ発展の為に中長期ビジョン(あり方)の策定、ビジョン達成の為に行動指針(ビジョン達成の為に必要な行動)をつくる

例)大枠のテーマを掲げる

【東京武蔵村山ロータリークラブは地域に愛され 魅力☆多ある奉仕団体になります】

例)行動指針(計画)を作成する

- ・創立60年には会員60名にする『60&60運動』
- ・女性会員5名以上入会
- ・5年以内に国内/外で友好クラブを作り交流(青少年交換等)する
- ・友好クラブと地域貢献共同事業(地区補助金/グローバル補助金)を行う

ポイント『受け入れ、気づき、考え、行動する』

セミナーや研修の最後に、「今日はどんな【気づき】がありましたか?」と問われることがあります。これまでの自分の考えにはなかった新しい考えを取り入れることで、違った視点で、ものごとを捉えられるようになります。

【気づき】が自分の心に響けば探究心にもつながり、さらに深い知識・経験を身に付けようと発展します。こんな風に良いことだらけの【気づき】ですが、どうすれば【気づき】を得ることができるのでしょうか?

どうすれば【気づけるか】?

講義やセミナーで気づきを得るには、2つポイントがあると考えています。

- ・内容に興味関心があるか
- ・簡単すぎず、難しすぎない範囲に収まっているか

そもそも、自分の興味関心が無いと、【気づき】を得ることは難しいです。話が入ってきませんし、この先、何かしようという積極的な行動にも繋がらないからです。興味がないことに意識を向けることは難しいと思います。

では、興味を持つにはどうしたらよいかですが、まずは《受け入れようと思うこと》ではないでしょうか? 自分の価値観にとらわれずに評価・判断せずに聞いてみる。聞くことに集中すると自ずと興味が湧いてくる気がしています。

次に、程よく難しい内容になっていることも大切です。簡単すぎると新しい知識に繋がりませんし、難しすぎても何を言っているのか全く理解できません。今の知識のちょっとだけ外側にあるぐらいの難しさが【気づき】につながります。【気づき】を繰り返すことで自分の理解も深まり、知識の輪が広がると気づける範囲も広がるのではないかと考えています。

そして【気づき】を自分のものにするには、内省が大切です。何を学び、今後どう活かすのかを振り返ることで、一過性の学びで終わらせずに済みます。そして行動に落とし込むことで自分の中に根付きます。

